

# くらし、福祉、子育て優先の 市政の前進に大きな役割を發揮

菅谷市政が誕生して3年。市民の世論と運動、日本共産党の提案が市政を大きく動かしてきました。日本共産党は、これからもみなさんの願いを市政に届け、実現のために力をつくします。

## 「国の悪政からくらしを守る施策を」と建設的提案

住民税や国保税、介護保険料の相次ぐ増税、負担増に、「これ以上負担が増えたら暮していけない」「年寄りには死ねといふことか」と不安と怒りが広がっています。

日本共産党は「市民の負担軽減を」と、今年の2月議会では「介護保険料の引き下げ」「介護認定者へ障害者控除の申請書の発行」を強く求めました。



## 子育て応援が前進

保育料の引き下げが実現。

子ども医療費無料化は就学前までの所得制限を撤廃することができました。30人規模学級が小学校6年生まで拡大。中学校の適応指導・学習指導改善教員が2校に1校に配置されるようになりました。



## くらし・福祉優先の予算に転換

有賀市政のときから、大型公共事業優先の予算の使い方を、くらし優先の予算に見直すことを求めてきました。多くのみなさんと力を合わせ菅谷市長誕生に力を尽くし、くらし・福祉優先へ税金の使い方を切りかえました。市の借金も3年連続で減らしています。

介護保険の利用料、障害者自立支援の減免制度が実現。  
介護ベッドのレンタル費用の助成制度が実現。

## 国保証のとりあげをやめさせました

発言したのは  
日本共産党だけ



全国では、高すぎる国保税を払えずに正規の保険証が交付されず、受診を控えるケースが増えて、「手遅れ」で命を失うなど、大問題になっています。この松本市では日本共産党だけが、「国保証は命のパスポート」と繰り返し議会でも発言、滞納があっても国保証を発行するよう求め、実現させることができました。

一般会計からの繰り入れで値上げ幅を抑えることができました。  
国保税減免制度が実現しました。

「調査と分析力するどく チェックと提案」

## 日本共産党の現職（井川城）は

市議会になくてもならない人。  
格差が広がる今こそ、ためされず  
みのベテランが必要です。

5期20年、「住民の利益第一」で一貫して論戦をリード。その発言と提案は定評があります。

身近な地域の相談から、市全体のことまで、くらし・福祉、生活環境など、いつも正面から全力でとりくむ人。

この役割を、引き続き果たさせてください

こんな時  
だからこそ

# 国の悪政から暮らしを守る施策を

日本共産党の  
**提案**

介護保険料・国保税を引き下げます。

介護認定者が障害者控除を受けられるようにします。

子どもの医療費を小学校卒業まで窓口無料にします。

## くらし、福祉の願い最優先で

- 高齢者福祉施設の充実で待機者をなくします。
- 高齢者や高校生などの交通手段を確保します。
- 生活保護が受けられるよう、住宅の斡旋や「家賃補助」を充実します。
- 「住宅相談総合窓口」の設置で、住まいの悩みにこたえます。
- 障害者の負担を軽減するための独自支援策をさらに充実します。

## 安心して子育てできる環境を整えます

- いじめへの懲罰的対応ではなく、すべての子どもを人間として大切に教育をめざします。
- 全ての小学校区に児童センターをつくります。
- 中学校まで30人規模学級を広げます。
- 放課後児童クラブの充実をはかります。
- 病児保育を新設します。



「病気休職中の夫の介護で私は働けません。介護保険は使えず、たった一人での介護は大変です」(50代・女性)

「少子化をいうなら子育て支援を一番にすすめてほしい。支援してもらえると安心感がほしい」(50代・女性)

## 中小業者と農業を応援し、仕事と雇用を増やします

- 松本市独自の農業と農家を応援する農村振興計画を早急に策定するよう求めます。
- 商店街の歴史・文化に光をあて、観光ともあわせ、いきいき街づくりをすすめます。
- ものづくりは地場産業と連携を図り、製品の販路までの支援をします。
- 環境に配慮した自然エネルギーの活用で地球温暖化対策をさらにすすめます。

「大型店ばかりで町の中心が寂れてしまう。昔からの商店街が元気になるような対策を」(40代・男性)

## 市民参加の市政の前進を

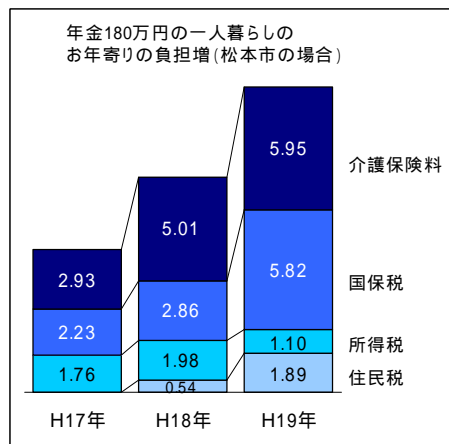
- 芸術監督制度の見直しなど、維持費6億円の市民芸術館の運営を改善します。
- NPO活動を支援し、協働をすすめます。
- 不公正な同和行政は、完全終結をめざします。



ご存知ですか?

## この6月、昨年につづいて住民税増税の痛みが...

2003年の総選挙で定率減税の廃止、年金課税の強化を公約したのが公明党。その後、自民・公明政府がこれを強行、その影響で昨年6月に一気に負担が増やされました。さらに、この6月、定率減税全廃の影響で、ふたたび負担増が押しつけられることに(グラフ参照)。国の悪政から、くらしを守る市政が切実に求められています。



**増税戦犯・公明党**  
「公明党のメンバーの一人は『うちが(定率減税見直しの言い出しっぺだから...』と言って、力なく笑った」(『東京』04年12月16日付)  
住民税増税をいいだし、自民党とくんで強行したのは公明党です。

日本共産党は、増税・負担増に反対し、格差をただすために全力をつくします